

第 23 回 東北森林科学会大会

2018 年度(平成 30 年度)

プログラム

と き : 2018 年 9 月 4 日 (火) ~5 日 (水)

と ころ : 秋田市民交流プラザ ALVE (アルヴェ)

(〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町 4-1)

主 催 東北森林科学会
共 催 一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会
後 援 秋田県

第 23 回東北森林科学会大会運営委員会

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部森林科学科内

事務局 : 白旗 学 TEL & FAX 019-621-6141

E-mail : kikaku@tsfs.jp

大会に参加される皆様へ

受付

日時 9月4日（火） 午前9時30分より

場所 2F多目的ホール前

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払ください。

大会参加費（当日） （要旨集代を含む）	2,500円
懇親会参加費（当日）	5,000円 （当日参加はお断りする場合があります）

総会

日時 9月4日（火） 16:30-17:30

場所 2F多目的ホールB

懇親会

日時 9月4日（火） 18:00-20:00

場所 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市中通7-2-1, Tel 018-831-2223）

編集委員会

日時 9月4日（火） 10:30-11:30

場所 4F洋室B

理事会

日時 9月4日（火） 11:30-13:00

場所 4F洋室B

昼食、宿泊等について

昼食及び宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。なるべく公共交通機関をご利用ください。

学生優秀発表賞

前回大会より学生優秀発表賞（学生ポスター賞）が新設されました。学生が発表する9月4日のポスターセッションより選考し、同日の総会にて受賞者が発表されます。

大会日程

	9月4日(火)		9月5日(水)	
9:30	受付		ポスター準備	口頭発表
10:00				
10:30	ポスター準備	編集委員会	ポスターセッションB	
11:00				
11:30	ポスターセッションA	理事会	ポスター回収	
12:00				
12:30				
13:00	ポスター回収／準備	テーマ別セッションA		
13:30				
14:00				
14:30				
15:00				
15:30				
16:00				
16:30	東北森林科学会総会			
17:00				
17:30				
18:00				
18:30	懇親会			
19:00				
19:30				

テーマ別セッション

■ テーマ A 9月4日(火) 13:30-16:30 〈2F多目的ホールA〉

次世代の森林整備をどう進めるか ―再造林の選択肢―

コーディネーター：和田 覚（秋田県林業研究研修センター）

八木橋 勉（森林総合研究所東北支所）

資源が成熟し、今後、伐採収穫が行われる人工林が大幅に増加すると予想される。森林管理の大きな転換期とも言える現在、早急に次世代の人工林整備の方針、あり方について検討する必要がある。低コスト化、伐植一貫作業の推進など、これまでの取組を振り返りつつ、地位の再評価、造林樹種の選択、森林機能の選択及び多機能化など、これからの再造林の選択肢について、東北地方の知見を集め、次世代の森づくりの目指すべき方向性について議論したい。

- 1 再造林コスト削減の取組—低密度植栽と下刈り作業を中心に—
駒木貴彰・梶本卓也・八木橋勉（森林総研東北）
- 2 日報分析による一貫作業の効果測定—秋田スギ循環利用促進モデル事業の結果—
天野智将（森林総研東北）・畠山 真（秋田県林業木材産業課）
- 3 立地環境に応じた再造林樹種の選択
上野 満（山形県森林研セ）
- 4 秋田県における再造林樹種としてのカラマツの可能性（予察）
和田 覚・新田響平（秋田県林研セ）
- 5 広葉樹防風林の定量的機能評価にむけて
新田響平・和田 覚・（秋田林研セ）・萩野裕章（森林総研東北）

ポスターセッション

今大会も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までに、ご自分の番号（下記参照）のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅 120cm, 高さ 180cm（縦長）」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

ポスターセッション1日目

9月4日（火）11:30-14:30 〈2F多目的ホールB〉

- 10:30-11:30 ポスター準備
- 12:00-13:00 コアタイム
- 14:30-16:00 ポスター回収

- 1 モウソウチク林全体の稈発生の年次変動特性
浅川周徒（山形大農）・王莫非（岩手大院連合農）・吉村謙一・森 茂太（山形大農）
- 2 ブナ芽生えの生き残り：省エネで急速成長する根系
黒澤陽子・森 茂太・吉村謙一（山形大農）
- 3 森林鉄道遺産を活用した地域振興の現状と課題—丸瀬布森林公園いこいの森における事例分析—
石原拓巳・立川史郎（岩手大農）
- 4 オオバクロモジ低極性抽出成分における抗蟻活性
佐藤愛美・高橋孝悦・芦谷竜矢（山形大農）
- 5 スギ樹皮成分の定量値に及ぼす粒度分布の影響
片寄芳紀・小藤田久義（岩手大農）
- 6 フェルギノールの抗アルツハイマー病作用
山地由恵・田中文悠・若林篤光・小藤田久義（岩手大農）
- 7 マツタケの栄養成長に及ぼす金属イオンの影響 — Mo^{2+} , Zn^{2+} , Al^{3+} について—
菅原冬樹・鈴木博美（秋田県林研セ）

- 8 光ストレス環境下で育成したシイタケの遊離アミノ酸変動
鈴木博美・菅原冬樹（秋田県林研セ）・伊藤俊彦・村口 元（秋田県立大）
- 9 ハタケシメジ空調施設栽培品種における簡易施設栽培方法の検討
渡邊広大・目黒 渚（宮城県林技セ）・佐藤資之（宮城県食用茸協同組合）
- 10 クロマツキャビティコンテナ苗へのショウロ菌根菌感染技術
高橋 文・千葉 翔・中村人史・渡部公一（山形県森林研セ）
- 11 ニホンジカのワラビ採食状況の調査
古澤優佳・中村人史（山形県森林研セ）
- 12 東北産アカマツ精英樹の発芽パターンに対して種子採取年の気象は影響するか？
那須仁弥・宮本尚子（森総研林木育種セ東北）
- 13 アカマツのマツノサイセンチュウ抵抗性採種園造成後の採種園産種苗の接種検定生存率の変化
蓬田英俊（岩手県林技セ）
- 14 ミクロフィブリル傾角と応力波伝播速度がスギの根元曲がりを与える影響
宮下智弘・渡部公一（山形県森林研セ）・井城泰一（森総研林木育種セ東北）
・工藤佳世・高田克彦（秋田県立大木材高度加工研）
- 15 ラミナ製材における原木径とラミナ歩留まりとの関係
阿部由紀子（福島県林研セ）・小川秀樹（福島県農業振興課）・村上 香（元福島県林研セ）
- 16 スギ大径材の活用促進に関する研究 ―大径材の流通調査と心去り平角材の強度性能―
皆川 豊（宮城県林技セ）
- 17 半自動集材装置および集材方法の考案
幅 朗（岩手県滝沢市）

ポスターセッション2日目

9月5日（水）10:30-13:00 〈2F多目的ホールB〉

9:30-10:30 ポスター準備

12:00-13:00 コアタイム

13:00-14:00 ポスター回収

- 1 青森県屏風山地域におけるクロマツコンテナ苗の導入試験
伊藤昌明（青森県産技セ林研）
- 2 海岸防災林の生育基盤盛土に植栽した広葉樹の現状 ―植栽環境の物理性と化学性からの考察―
河部恭子・高橋一太（宮城県林技セ）・瀧 典明（宮城県農業・園芸総合研究所）
- 3 山形県庄内海岸におけるクロマツ2,500本/ha植栽の可能性
伊藤 聡・渡部公一（山形県森林研セ）
- 4 積雪地におけるスギコンテナ苗植栽試験 ―通年植栽の可能性と至適形状比の検討―
佐藤博文（秋田県林研セ）
- 5 ワラビカバークロップによる下刈り軽減とワラビ収益
中村人史・渡部公一（山形県森林研セ）

- 6 カラマツ植栽地に植栽したワラビのカバークロップ効果
渡部公一・中村人史（山形県森林研セ）
- 7 様々な方法による下刈り作業の省力化とコスト削減
八木橋 勉・野口麻穂子・梶本卓也（森林総研東北）・長岐昭彦（秋田県林研セ）・原山尚徳（森林総研北海道）・中村人史（山形県森林研セ）・外館聖八朗（ノースジャパン素材流通協同組合）・大矢信次郎（長野県林総セ）・対馬俊之（北海道総研林試）・矢本智之（青森県産技セ林研）
- 8 刈り払いと地表処理がオオシラビソ実生の発生に及ぼす影響
千葉 翔（山形県森林研セ・岩手大院連合農）・林田光祐（山形大農）
- 9 秋田スギ天然林内の根株上で生育する広葉樹の特性
太田敬之（森林総研東北）
- 10 コナラ実生の放射性物質移行に係る一考察
長田 萌（宮城県林技セ）・齋藤雅典（JST・東北大学）、
しいたけ原木林再生プロジェクトチーム（宮城県）
- 11 原木しいたけ露地栽培における放射性物質対策試験
目黒 渚・渡邊広大（宮城県林技セ）・今埜実希（宮城県森林整備課）
- 12 モウソウチク林の除染がタケノコの放射性セシウム濃度に与える影響
齋藤智之・八木橋勉（森林総研東北）・渡邊広大（宮城県林技セ）
- 13 分布北限更新地におけるツクツクボウシタケの大量発生
磯野昌弘（森林総研東北）
- 14 山形県において近年発生した森林被害 III
齊藤正一・古澤優佳・千葉 翔（山形県森林研セ）
- 15 スギ高齢林と間伐林での地上レーザと立木調査の比較
小谷英司（森林総研東北）・細田和男・西園朋広・福本桂子（森林総研）・北原文章（森林総研四国）
- 16 坪毛沢木堰堤群の状況
玉井幸治（森林総研）・野田龍（秋田大）・桃原郁夫・大村和香子・松永浩史・神原広平（森林総研）
・明石浩和（京都府森林技術セ）・藤田智郁（秋田大）・山内仁人（長野県上伊地振）

口頭発表

9月5日（水）9:30-11:15 〈2F多目的ホールA〉

口頭発表は1題15分（発表12分、質疑応答3分）厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USBフラッシュメモリ等に保存したPowerPoint用ファイルを、当日口頭発表開始前までに会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンはWindows7、PowerPointのバージョンは「2010」の予定です。円滑な進行のため、パソコンの持ち込みはお断りいたします。

9:30-9:45 1 日本における森林信託の可能性と課題
大塚生美（森林総研東北）

9:45-10:00 2 北東北におけるニホンジカとその越冬地の把握
高橋裕史・相川拓也（森林総研東北）

- 10:00-10:15 3 カシノナガキクイムシの穿入生存木は放置しても大丈夫か!?
長岐昭彦 (秋田県林研セ)
- 10:15-10:30 4 林地除草剤を使用した再生林の作業仕組と労力・経費の低減
外館聖八朗 (ノースジャパン素材流通協同組合)
- 10:30-10:45 5 個体サイズに応じた根系へのエネルギー(呼吸)配分の変化 - 樹木個体の健全性評価の指標 -
森 茂太・黒澤陽子・王 莫非・吉村謙一 (山形大農)
- 10:45-11:00 6 ヒバ天然林施業の調査データ収集と解析
増田悠介 (東北森林管理局)
- 11:00-11:15 7 海岸防災林復旧事業により植栽されたマツ類の3成長期までの成長と生育状況
新井隆介・丹羽花恵・谷内博規 (岩手県林技セ)

関連集会

大会前日(9月3日)に、東北森林科学会・日本木材学会抽出成分利用研究会共催のシンポジウムを開催いたします(参加費は無料)。

企画名: 樹木抽出成分討論会(シンポジウム)

日時: 9月3日(月) 13:00-17:30

場所: 秋田市民交流プラザ ALVE 4階 会議室

内容: 基調講演

谷田貝光克 氏(東京大学名誉教授, 秋田県立大学名誉教授)

高橋孝悦 氏(山形大学教授, 前東北森林科学会会長)

研究発表(口頭・ポスター発表)10件

その他

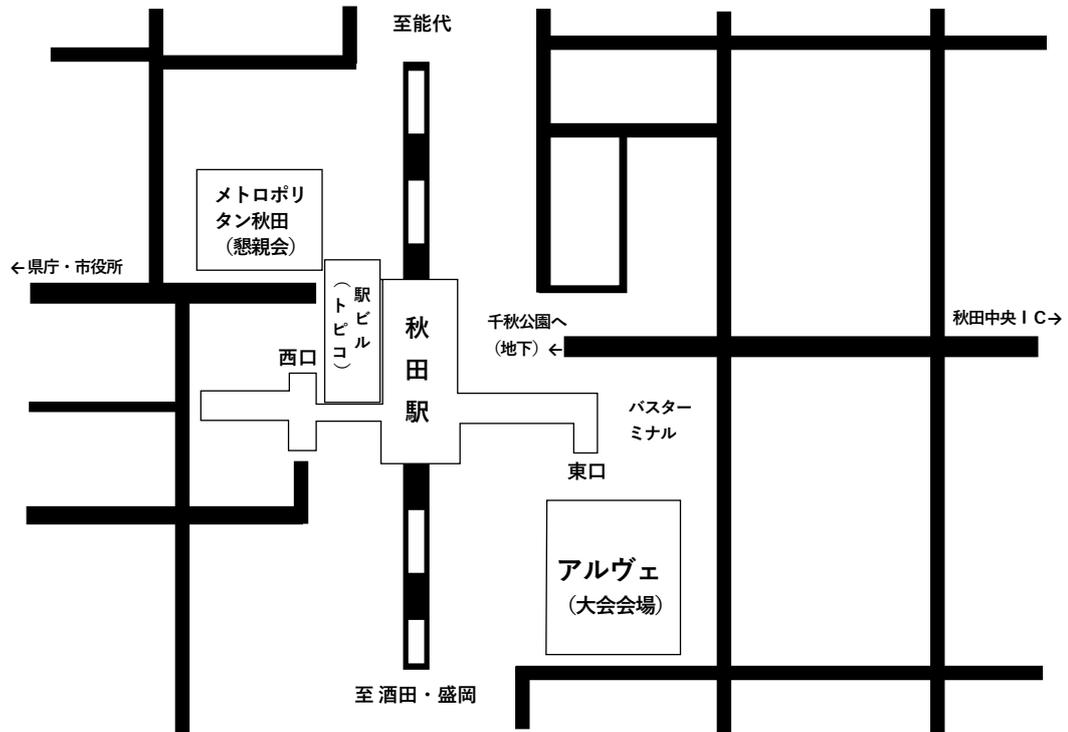
9月4, 5日のポスター会場(2F多目的ホールB)で、近赤外光の分光特性を利用した「充実種子選別装置」のデモを行います。ご興味のある方が身近にいらっしゃいましたらお声がけをお願いいたします(一般の方の学会聴講は無料です(受付で記名のみお願いしております))。なお、この装置の開発をおこなっている研究プロジェクトについては、下記 URL をご参照ください。

「優良苗の安定供給と下刈り省力化による一貫作業システム体系の開発(再生林加速化プロジェクト)」(森林総合研究所) http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/conwed/index_pro.html

会場等の案内

会場へのアクセスは、公共交通機関等をご利用ください。(会場 URL <http://www.alve.jp/>)
宿泊については各自ご対応ください。

大会会場案内図



【秋田市民交流プラザ ALVE (アルヴェ)】

J R秋田駅から徒歩3分(駅直結)

秋田中央ICより車で15分

※自動車でお越しの方は有料駐車場(24時間, 320台)が利用できます。

【ホテルメトロポリタン秋田】

秋田駅から駅ビル(トピコ)内を通り抜けできます(8時~20時)。

大会に関する問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部森林科学科内

第23回東北森林科学会大会運営委員会

事務局：白旗 学 TEL & FAX 019-621-6141

E-mail : kikaku@tsfs.jp